

モデル		CLA 180/CLA 180 Coupe				CLA 200 d/CLA 200 d Coupe		CLA 250 4MATIC/CLA 250 4MATIC Coupe			Mercedes AMG CLA 35 4MATIC			Mercedes AMG CLA 45 S 4MATIC+	
車両型式		5BA-118384M				3DA-118312M		5BA-118347M			4BA-118351M			4BA-118354M	
排出ガス試験走行モード		WLTCモード				WLTCモード		WLTCモード			WLTCモード			WLTCモード	
原動機		282				654		260			260			139	
総排気量		1,331 cc				1,949		1,991			1,991			1,991	
変速機		電子制御7速A/T				電子制御8速A/T		電子制御7速A/T			電子制御7速A/T			電子制御8速A/T	
駆動方式		前輪駆動(F/F)				前輪駆動(F/F)		四輪駆動(4WD)			四輪駆動(4WD)			四輪駆動(4WD)	
排出ガス	適合規制・認定レベル	ガソリン乗用車 平成30年基準排出ガス 50%低減レベルに適合				ディーゼル乗用車 平成30年基準排出ガス 50%低減レベルに適合		ガソリン乗用車 平成30年基準排出ガス 50%低減レベルに適合			ガソリン乗用車 平成30年基準排出ガス 25%低減レベルに適合			ガソリン乗用車 平成30年基準排出ガス 25%低減レベルに適合	
	規制値・認定値	一酸化炭素(CO)	g/km	1.15	0.63	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	1.15	
		非メタン炭化水素(NMHC)	g/km	0.05	0.024	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
		窒素酸化物(NOx)	g/km	0.025	0.15	0.025	0.025	0.025	0.025	0.025	0.025	0.025	0.025	0.025	
		粒子状物質(PM)	g/km	0.005	-	0.005	0.005	0.005	-	-	0.005	-	-	0.005	
騒音	適合規制レベル	平成28年規制に適合				平成28年規制に適合		平成28年規制に適合			平成28年規制に適合			平成28年規制に適合	
	加速走行騒音(規制値)	db	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	定常走行騒音(規制値)	db	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	近接排気騒音(規制値)	db	73	75	75	75	77	80							
燃料の種類		無鉛プレミアム・ガソリン				軽油		無鉛プレミアム・ガソリン			無鉛プレミアム・ガソリン			無鉛プレミアム・ガソリン	
燃料消費率**		15.3				18.8		12.5			12.7			12.8	
		16.3				16.4		16.5			17.4			20.0	
		152				138		186			183			181	
		10%向上達成				達成		10%向上達成			25%向上達成			-	
		-				-		5%向上達成			-			-	
		-				-		70%達成			-			-	
		燃費基準達成率 平成27年度				燃費基準達成率 平成27年度		燃費基準達成率 平成27年度			燃費基準達成率 平成27年度			燃費基準達成率 平成27年度	
		燃費基準達成率 令和2年度				燃費基準達成率 令和2年度		燃費基準達成率 令和2年度			燃費基準達成率 令和2年度			燃費基準達成率 令和2年度	
		燃費優良車 令和12年度				燃費優良車 令和12年度		燃費優良車 令和12年度			燃費優良車 令和12年度			燃費優良車 令和12年度	
備考		類別区分番号: 0218,0226,0228	類別区分番号: 0216	類別区分番号: 0118,0126,0128	類別区分番号: 0116	類別区分番号: 0116,0118,0126,0128 0216,0218,0226,0228	類別区分番号: 0116,0118,0126,0128	類別区分番号: 0216,0218,0226,0228	類別区分番号: 0316,0318,0326,0328	類別区分番号: 0016,0018,0026,0028	類別区分番号: 0102,0104	類別区分番号: 0202,0204,0302,0304	類別区分番号: 0002,0004	類別区分番号: 0102,0104	類別区分番号: 0202,0204,0302,0304
カーエアコン冷媒**		種類:R134a (GWP:1430)	使用量:590g	使用量:690g または 590g	使用量:690g または 590g	使用量:590g	使用量:590g	使用量:590g	使用量:590g	使用量:590g	使用量:1,200g				
リサイクル		リサイクル設計の有無				有		有			有			有	

**※補足**

■一酸化炭素(CO):  
無色、無臭、水に難溶の気体で、重油、ガソリンなど炭素を含む化合物が不完全燃焼する時に発生する。  
工場・事業場や自動車などから大気中に排出される。環境基準並びに大気汚染防止法及び都道府県条例による排出基準、自動車排出ガスの許容限度がそれぞれ定められている。

■窒素酸化物(NOx):  
燃料などの燃焼過程において、空気中の窒素と酸素が高温で反応したり、燃料中の窒素が酸化されて発生する。  
工場、事業場から排出されるが、自動車からも排出される。刺激性があり、汚染が濃い地域で生活していると呼吸器障害を起こすといわれている。また、酸性雨の原因物質でもある。

■炭化水素(HC)、非メタン炭化水素(NMHC):  
炭素と水素から成る化合物の総称。炭化水素は、作業場の神経系や肝臓障害を引き起こすため労働安全衛生法で管理規制等が定められている。  
大気中で酸化した炭化水素は、強い帯電層を受けて光化学オキシダントを生成し、人体や植物に害を与える。  
尚、NMHCは、有害性がなく光化学的に不活性のメタンを除いたものであり、有害性であり浮遊粒子状物質等の二次生成成分を的確に削減するために平成17年排出ガス規制から規制されている。

■粒子状物質(PM):  
大気中に浮遊する粒子状物質で、工場からの煙塵、ディーゼルの排出ガス、粉塵、土埃などがある。ディーゼルの排出ガスの粒子状物質の成分のほとんどは燃料の燃え残りのカーボンと炭化水素であり、微塵に硫酸塩と有機油成分である。粒子状物質(PM)は健康(呼吸器以下)は呼吸器への影響があるといわれている。

\*1 上記の燃料消費率の値は国土交通省審査値です。燃料消費率は定められた試験条件のもとでの数値です。実際の走行時には、気象、道路、車両、運転、整備等の状況が異なってくるため、それに応じて燃料消費率が異なります。

\*2 令和2年度基準に対応した燃費優良車の車両については、平成27年度燃費基準の自動車燃費性能に関する表示について表示の対象外となります。また、令和12年度基準に未対応の車両については、平成27年度燃費基準の自動車燃費性能に関する表示のみを表示しています。

\*3 WLTCモードに基づく燃費消費率となります。  
WLTCモードは、市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モードです。市街地モードは、信号や渋滞の影響を受ける比較的低速な走行を想定し、郊外モードは、信号や渋滞等の影響を受けにくい走行を想定、高速道路モードは、高速道路等での走行を想定しています。

\*4 冷媒の環境影響度の低減(フロン排出抑制法)における目標値/目標年度:GWP150/2023年度。  
GWP: Global Warming Potential (地球温暖化係数)。  
大気放出禁止・廃棄時要回収。

■ 本車両環境データの内容は、2022年3月9日現在の確定値となります。